

アジサイの東中
 東中の花といえばアジサイです。平成8年には全国花いっばいコンクールで埼玉県最優秀賞並びに全国農林水産大臣賞を受賞しました。



上:農林水産大臣賞石碑
 下:たくさんのアジサイ

それ以来、「アジサイの東中」として、地域に愛されています。昨年度は、コロナウイルス感染症の関係で実施できませんでした。例年6月末頃、地域住民の皆さまにもご参加していただき「アジサイ講習会」を開催しています。

アジサイをきれいに保つには、花期を終えた後の剪定や下草の処理などが欠かせず、それにかかる労力はかなりのものですが、きれいなアジサイは東中の誇りです。

今後、アジサイのみならず、東中学校の緑化整備を行う学校応援団として、「アジサイの会」

を立ち上げる計画もあります。いつまでも「アジサイの東中」であるために職員一同頑張ります。地域の皆さまのご理解・ご協力、そして応援をお願いいたします。

東中学校校章

開校は昭和35年9月1日で、その半月後9月15日に、生徒や保護者の応募作品の中から、当時の中学3年生の生徒作品をもとに作成され制定されました。



校章

外郭の三角形は、吉川市章を、2本の山形は旭中学校と三輪野江中学校が統合されていることを表し、中央の「東」は「東」と「中」の二文字を兼ね「中」の字を金色で浮かび上がらせています。

また、これは「光は東方より輝く」とも意味しています。



市長コラム
「価値ある未来を、共に」



政策室
 問合せ ☎982-5112 ☎981-5392

過去と今を結ぶ

▼「吉川」が町から市になった平成8年、「吉川むかしばなし」が刊行されました。それから20年後の平成28年、市制施行20周年記念誌として、吉川市の方言集も加えた新装「吉川むかしばなし」を刊行しました。そしてこの春、市制施行25周年記念誌として、4年の制作期間を経て、「吉川むかしばなし第2集」を刊行することができました▼制作

には、地域の皆さんをはじめ、「吉川市美術協会」「吉川美南高等学校美術部」「吉川市国際友好協会」「ワークショップ楽えん」「吉川市地域活動支援センター」「社会福祉法人 彩凜会」の皆さんなど、多くの方々からお力をいただきました。深く感謝いたします。まさに、吉川市の多様性の中での完成。素晴らしいことです▼また、収録されている創作昔話「なまずの人助け」は、公募で作品を募り制作する「文藝よしかわ」にて、「創作むかしばなし部門 最優秀賞」を受賞された峯 健二さんの作品であり、吉川市の文化芸術事業の連携が一つの形になった事例として、非

常に意義のあるものとなりました▼先日、私はこの「吉川むかしばなし第2集」を手に、「石仏大威徳明王」の舞台となった加藤地区を訪ね、現存する「大威徳明王さま」を拝見しました。水害が起らないように願う、



石仏 大威徳明王

当時の人々の思いを感じると同時に、現在も水害から吉川市を守ってくださっている「大威徳明王さま」の存在を多くの方々知っていただき、吉川市全体の水害への意識をさらに高めてゆきたい、そう思いました▼過去と今を結ぶ「吉川むかしばなし第2集」。皆さんに読み継がれ、愛される中で、吉川市に「価値ある未来」が創り出されることを願っています。



市役所生涯学習課、中央公民館にて頒布中！